

【株式相場レポート】

～少しだけ不安和らぐ～

	8日終値	前週末比
日経平均(円)	22,694.50	+523.15
ドル(円)	109.64-65	+0.45
NYダウ(ドル)	25,241.41	+606.20
長期金利(%)	0.045	-0.005
NY原油(ドル)	65.95	+0.14

※NYダウ・NY原油は7日終値、ドル・長期金利は8日15時現在

今週の総括

★いくつかある不安材料は一進一退も、米朝首脳会談再設定を機に少し円安・株高に戻る

今週のプラス材料

- ・米朝首脳会談、12日に再設定
- ・米雇用統計は堅調

今週のマイナス材料

- ・G7声明「米国に懸念や失望」
- ・EUとカナダ、鉄鋼関税巡り、米をWTO提訴
- ・南欧の政治不安と長期金利高止まり続く

今週の日経平均は、引き続きボックス圏の範囲内ながら、不安心理が少し改善し、円安に伴い上昇した。

米国発のいくつかの不安材料は、米中通商摩擦、鉄・アルミや自動車への輸入関税は、どれも相手国との攻防が続き解決の方向性はまだ見えないが、市場価格への影響という観点では「一进一退」の状況のまま。今週の変化は、一旦は中止が発表された米朝首脳会談が当初予定と同じ来週12日に再設定されたこと。まだ予断は許さないが、市場心理的には懸念が少し後退し、円安が誘発され、日米ともに株価が上昇した。

業種別では、非鉄、自動車、商社、陸運、化学の上昇率が大きい。円安だと輸出関連株に注目が集まりやすいが、今週の電機や機械は日経平均より少し弱い程度で騰落率ランキングの真ん中。自動車など先週まで大きく下げた業種が買い戻される動きの方が目立った。主要企業の今期会社予想の前提が1ドル106円前後のため、先週の円高では懸念とならず下がらなかった分、今週の回復も小さめなのだろう。一方、資源株、医薬品、証券、不動産、食品、建設等が弱い。先週まであまり下がらなかった反動と考えられる。

来週以降の見通し

★前半こう着、後半は米朝会談とFRB次第

日経平均想定レンジ 22,000～23,500円

来週以降の注目材料

- ・北朝鮮に関する発表/報道
- ・米通商政策に関する中国を含めた関連動向
- ・イタリア政治動向ならびに欧州景気動向
- ・米株価と原油価格の動き

リスク要因

- ・北朝鮮動向
- ・米政権の動き/関連報道
- ・原油価格と為替市場の乱高下
- ・メガバンク株価のピークアウト

来週の日経平均は、前半は高め推移ながらもこう着する可能性が高い。後半はイベントの行方次第だろう。

注目はやはり12日開催予定の米朝首脳会談だろう。合意内容はどうか、もしくは平行線をたどるのか、緊張緩和方向なら円安株高となる可能性が高いが、今回は合意できずに継続交渉ならば市場の反応は限定的だろうし、何も合意できなければ市場不安が増すことになる。こうしたイベントでは、結果が事前想定の場合、開催直前から直後が市場期待値のピークとなるケースが多い点に注意しておきたい。

もう1つは、米FRBの利上げ動向。日本時間13日晩にFOMC会合の結果が発表される。利上げを想定する市場関係者が多いため、利上げした場合は現状維持、利上げに加えて現在のシナリオより積極化する発言があれば、米長期金利急上昇とともに警戒感から円高株安となるリスクがある。利上げが無かった場合は、長期金利が一旦低下し、この場合も一旦円高に傾くリスクがある。

再来週22日にOPEC総会が始まる。イランへの対応とともに産油国が減産緩和に動くかどうか注目がされる。あとは南欧諸国の長期金利が落ち着くかどうかにも目を向けておきたい。

残る輸入関税を含めた一連の米通商政策は当面一进一退が続くだろう。

次頁にコラム「徒然なるままに」

徒然なるままに

最近、戸田漕艇場(ボートコース)で水草が大量発生しているとの記事を読んだ。

戸田ボートコースは東京五輪のボート会場で、今も大きな大会のほとんどが実施される「ボート競技の聖地」。それが5月の大会では、レース中にオールに水草が絡まる事例が発生、他にも練習中に水草にオールが絡まり転覆したこともあったようだ。

スポーツの「聖地」といえば、国立競技場を始め、高校野球の甲子園、ラグビーの秩父宮や花園、バレーボールの代々木体育館や水泳の辰巳国際水泳場などが有名だが、それらの競技場が草ぼうぼうなどでまともに競技ができないという事態を想像すれば、戸田ボートコースの現状がとんでもない事態であることが分かる。

複数の記事での関係者のコメントでは、原因は特定できていないが、おそらく大阪道頓堀の水質浄化で効果があったイケチヨウガイを導入した結果、水質が改善されて透明度が増し、水草の光合成が活発化して大量発生につながったらしい。

何とも皮肉な結果である。埼玉県では刈り取り船を導入、1日あたり11.5トンの水草を除去しているほか、練習している選手たちも除去作業をしているそうだが、水草の成長が早くて追いつかない状況らしい。

似た事例は他にもあるようだ。諏訪湖で水質汚濁対策として、下水処理場を整備、大量発生していたアオコを20年かけて減らし、ハエの一種の害虫ユスリカも減って地元は喜んだが、ユスリカをエサとするワカサギも減り地元漁師は困ったそう。また、アオコが湖底の質を変えてしまい、アオコ消滅後はアオコ発生前に生えていた水草ではなく茎の太いヒシが繁茂、スクリューに絡む被害が出るようになったそう。長野のある湖では、水草コカナダモの大発生でコイの仲間を放流したところ、水草がなくなったものの、今度は湖の透明度が一気に悪化、淡水赤潮が発生してしまったそう。

自然の生態系は単純ではなく、制御するのは簡単ではないようだ。でもボート場はそもそも人工の施設だし、競技場で競技できないのは何とも寂しすぎる。何とかしてあげたいものだ。

リスクおよび手数料等の説明

株式取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。

- 株式取引の委託手数料はインターネット経由の場合1日の約定代金の合計により決定し、100,000円(税抜)が上限です
- 上場有価証券等書面、取引規程、取引ルール等をご覧いただき、内容を十分ご理解のうえ、ご自身の判断と責任によりお申込みください
- 口座基本料は個人の場合には原則無料です
※各種書面の郵送交付には、年間1,000円(税抜)をご負担いただく場合があります
- 本レポートは、当社が信頼できると判断した情報に基づき記載されていますが、その情報の正確性および完全性を保証するものではありません
- 本レポートは、お客様への情報提供を唯一の目的としたものであり、投資勧誘を目的として作成したものではありません
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします
- 本レポートに掲載された情報の使用による結果について、当社が責任を負うものではありません
- 本レポートに掲載された意見や予測等は、レポート作成時点の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります
- 本レポートの一切の著作権は当社に帰属します。いかなる目的であれ、無断複製または配布等を行わないようお願いいたします

次回発行予定：6月22日(金)17:00以降

業者名等 松井証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号
加入協会名 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会